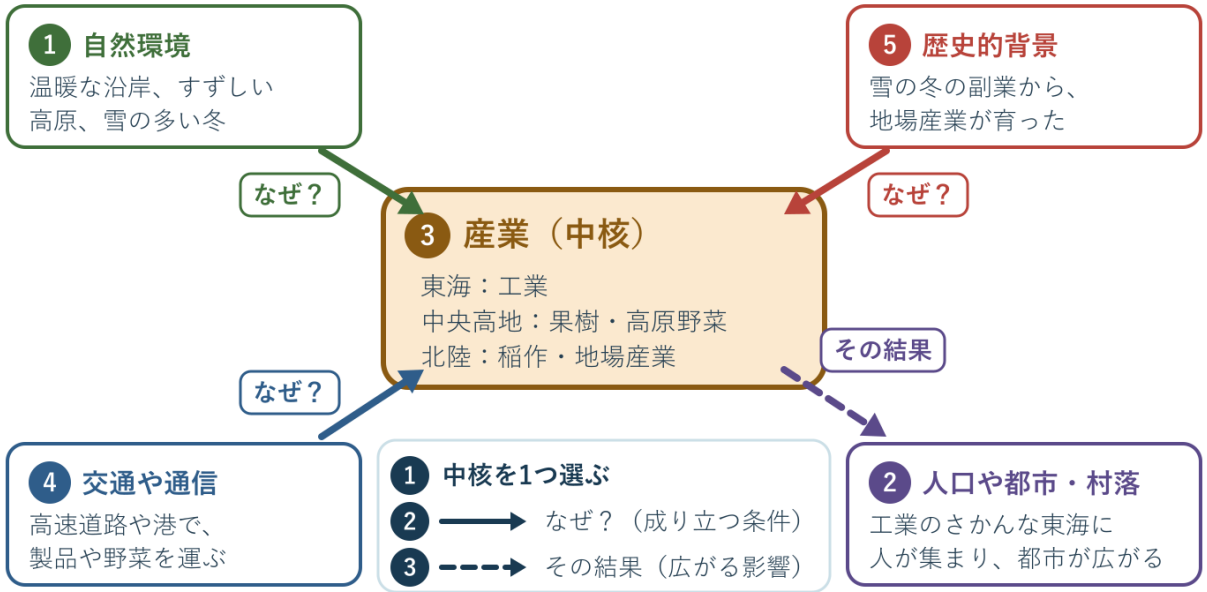
中核から広げて見る地方の特色

地方の特色を、1つの事象を中核にして、ほかの事象とどうつなげて説明するとよいでしょう

例：中部地方を「3 産業」を中核にして見る



中核を変えると、中心が入れかわる

同じ地方でも、中心に置く事象で説明が変わる。

A 3 産業を中心に置く



産業が成り立つわけを、自然や交通から説明する

B 1 自然環境を中心に置く



山地や雪・気候が、産業や暮らしにどう関わるかを説明する

地方を調べるときの5つの中核（考察の仕方）

1 自然環境	2 人口や都市・村落	3 産業	4 交通や通信	5 その他の事象
地形・気候・自然災害	人口の分布や動き、都市や村	農業・工業・観光などの産業	道路・鉄道・航路、通信網	歴史的背景・環境保全・伝統的な生活・文化など

地方ごとに中核を1つ選んで調べる。1〜4 は、どれも少なくとも一度は使う（5 は地方に合わせて選ぶ）。

※ 模式図。中部地方の例は、代表的な関係だけを選んで示した一例。どの中核を選ぶかは、学校や教科書によって違う。